

「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表					
No	区分	科目名	単位数	実務家教員	授業への実務経験反映内容
1	工学基礎科目	技術者倫理	2	郷持 茂 勲使川原 敏之	技術者倫理を科学技術・法・倫理の3つの視点で捉え、民間での知財マネジメントやコンサルティング経験、社会活動経験を交えた講義を行い、公共を意識した技術者になれるよう指導している。
2	工学基礎科目	環境エネルギー概論	2	① 藤澤 星 ② 首藤 文洋	①企業での技術開発業務で得た知見を活かし、エネルギーシステム概略や気候変動対策の位置付け・課題などについて、工学的視点だけでなく社会経済的視点に基づいて講義を実施する。②「動物と環境」のテーマで人間社会と動物の関係を獣医師の知見から問題提起した講義を行う。
3	工学基礎科目	データサイエンス概論	2	① 松本 浩樹 ② 干川 達也 ③ 荒井 武彦	①DSPに機械学習アルゴリズムを搭載させた経験を活かし、データサイエンスの実問題への適用について指導を行っている。②機械学習アルゴリズムを組み込みシステムに搭載する業務経験を活かし、実問題への適用について指導している。③AI搭載ボードの開発経験を活かし、実問題への適用について指導を行っている。
4	工学基礎科目	地域文化論	2	手島 仁	県史編纂室、県立歴史博物館、群馬地域学研究所に所属していた実績を生かした官民連携により、群馬学、地域学の研究を市民学芸員の養成など地域協働に繋げた知見を活かした授業を展開する。
5	工学基礎科目	ものづくり概論	2	①石川 恒夫 ②山下 聡	①建築設計実務を通じて得られた経験と知識をもって、授業を実施している。②官公庁との連携や企業勤務での実務を通じて得られた経験と知識を課題に活かして授業を実施している。
工学基礎科目 集計			10		
1	建築・都市・環境工学群	ランドスケープ特論	2	坂垣 範彦	設計実務の経験を活かした課題設定と技術指導を行っている。
2	建築・都市・環境工学群	建築計画I	2	辛島 一樹	設計実務の経験を活かし、建築計画の基本となる考え方を指導している。
3	建築・都市・環境工学群	建築構造特論	2	松本 匡史	担当教員は、建築物の構造設計に携わり、それらを通して得た経験を活かし、構造設計には技術とデザインが高度に絡むということ、その重要性を実際の建築物の紹介で伝え、プレゼンテーションを通して内容への理解と想像力を養う講義を行っている。
4	建築・都市・環境工学群	建築設計IV	2	杉浦 榮	都市計画、地域再編、公共建築などの計画・設計に実務者として長年従事してきた経験を活かし、先鋭的ながらもリアリティのある計画・設計を指導する。
5	建築・都市・環境工学群	構造解析演習	2	久保 武明	鋼橋の設計実務の経験を活かし、PCソフトによる橋梁構造物の計算法や情報処理等を解説している。
6	建築・都市・環境工学群	図学デザイン	2	石川 恒夫 山梨 綾菜 橋木 幹也	設計実務の経験を活かし、建築物等の実務図面にもとづく製図法を指導している。
7	建築・都市・環境工学群	測量実習I	2	角田 健治	30年以上の測量会社勤務の経験を活かし、測量実習を指導している。
8	建築・都市・環境工学群	都市環境計画I	2	辛島 一樹	設計実務の経験を活かし、建築が都市に与える影響を含め、都市計画の法制度の内容、重要性を指導している。
9	建築・都市・環境工学群	土木構造力学I	2	宮川 睦巳	橋梁会社での実務経験を生かし、鋼橋を題材として力学の重要性と現実の設計に必要な基礎知識を説明している。
10	建築・都市・環境工学群	工学デザイン実習V a	2	杉浦 榮	都市計画や地域再編やまちづくりに関わる空間デザイン分野に計画・設計者として長年携わった実務経験を活かし、実際の地域や土地を対象とした実社会に還元しうる計画・設計を指導する。
11	建築・都市・環境工学群	クラフトデザイン	2	①中島 修 ②足立 真輝	①インテリアプロダクトのデザイナー兼製作者としての経験から具体的事例に基づいた授業を行う。②現代美術の作家としての経験に基づく造形技術を生かした授業を行う。
12	建築・都市・環境工学群	地域活性工学	2	山中 憲行	労働安全衛生の技能講習・特別教育や研究開発で得た実務経験をもとに、地域社会の安全向上や活性化に取り組んできた事例を講義に取り入れ、地域活性工学の指導に活かしている。
13	建築・都市・環境工学群	パウビオロギーII	2	石川 恒夫	地域の気候風土や歴史的環境を読み取り、それが内部環境にまで作用するという設計実務における経験を授業に活かしている。
14	建築・都市・環境工学群	建築計画II	2	辛島 一樹	設計実務の経験を活かし、建築計画の基本となる考え方を指導している。
15	建築・都市・環境工学群	建築設計III	2	①石黒 由紀 ②渡瀬 正記 ③伊藤 孝仁 ④小松 剛之	実際の建物を設計する過程で、実務を通じて得られた経験と知識を課題に活かし、技術指導を行っている。①～経験を本授業に反映する、②～経験を本授業に反映する、③～経験を本授業に反映する、④～経験を本授業に反映する
16	建築・都市・環境工学群	公害防止と電気保守	2	山中 憲行	労働安全衛生の技能講習・特別教育、研究開発の実務経験を活かし、公害防止や電気設備の安全確保に取り組んできた内容を講義に取り入れ、公害防止と電気保守の指導に活かしている。
17	建築・都市・環境工学群	構造力学基礎	2	山中 憲行	労働安全衛生の技能講習・特別教育や研究開発で得た実務経験をもとに、構造物の安全対策に関する基本的な考え方を講義に取り入れ、構造力学基礎の指導に活かしている。
18	建築・都市・環境工学群	都市環境計画II	2	辛島 一樹	設計実務の経験を活かし、建築が都市に与える影響を含め、都市計画の法制度の内容、重要性を指導している。
19	建築・都市・環境工学群	防災まちづくり	2	辛島 一樹	設計実務の経験を活かし、建築計画の基本となる考え方を指導している。
20	建築・都市・環境工学群	建築構造解析	2	佐藤 良介	18年間に及ぶ民間の建設会社での在職中、技術研究所にて研究開発技術の構造設計指針作成7件に携わる。この際、指針作成に必要な実験データの解析的処理の他、構造部材の力学的挙動の解析的検討を重ねて技術の実用化に貢献した。授業では、材料的観点において、実務視点から準備が必要な各種基準・規準に則した解析処理について教授する。構造的観点において、実務的に使用が想定される解析プログラムの活用に不可欠な基礎的知識について教授する。
21	建築・都市・環境工学群	ローカル・インダストリアルデザイン	2	①中島 修 ②小川 貴之	①インテリアプロダクトのデザイナー兼製作者としての経験から具体的な事例に基づいた授業を行う。②建築・まちづくりのプランナーとしての経験から具体的な事例に基づいた授業を行う。
22	建築・都市・環境工学群	キュレーション・インストール側論	2	阿部 由布子	キュレーター／インストーラーとして活動してきた知見を生かした授業を展開する。
23	建築・都市・環境工学群	安全デザイン工学	2	山中 憲行	労働安全衛生の技能講習・特別教育や研究開発で得た実務経験をもとに、安全デザイン分野の構築に取り組んできた内容を講義に取り入れ、安全デザイン工学の指導に活かしている。
25	建築・都市・環境工学群	環境デザイン	2	杉浦 榮	実務経験を活かし、実在の地域や場所を対象とし、都市環境デザインコンペ要項や、自他の実務例等を参照した現実的な課題に対する講評や指導を行っている。
26	建築・都市・環境工学群	グラフィックデザイン	2	阿部 由布子	グラフィックデザイナーとして活動してきた知見を生かした授業を展開する。
27	建築・都市・環境工学群	建築C A D	2	橋本 薫	設計実務の経験を活かした課題設定と技術指導を行っている。
28	建築・都市・環境工学群	建築環境特論	2	石川 恒夫 白江 龍三	両名とも設計事務所を運営し、環境に配慮した設計実務の経験を有する。講義では実務経験を活かした事例紹介や課題設定を行っている。
29	建築・都市・環境工学群	計画数理	2	森田 哲夫	社会調査、交通実態調査等に関する実務経験を活かし、データの収集方法と分析手法などの解説を行っている。

「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表					
30	建築・都市・環境工学群	建築マネジメント	2	水出 有紀	公共工事の入札適正価格設定のため、数量積算基準、積算基準に基づく積算業務、また監督員補助として工程、コスト等の施工管理、およびプロジェクトの各段階における建築積算、総合管理計画や個別施設計画の策定及び改定など各種ファシリティマネジメント業務に携わっており、その実務経験に基づき講義している。
31	建築・都市・環境工学群	建築計画特論	2	石田 敏明	設計実務の経験を活かし観察力、分析力、構想力、設計力とプレゼンテーション能力を身につけさせる課題設定と建築知識と表現指導を行っている。
33	建築・都市・環境工学群	建築構造力学Ⅲ	2	佐藤 良介	18年間に及ぶ民間の建設会社での職中に構造設計部での在籍経験がある他、研究開発技術の構造設計指針作成7件に携わる。授業では、実際の構造設計で対象となる不特定構造物の応力図の求め方他について、実務視点からの解釈・実務的な帰着点を添えながら教授する。
34	建築・都市・環境工学群	建築施工	2	高橋 康夫	公共建築の設計から施工監理業務で得た経験を活かし、建築生産のしくみをはじめ工事の着工から竣工までのプロセスを施工技術、施工法に関する最新技術の紹介を取り込みながら、施工管理マネジメントを含めて講義を行っている。
35	建築・都市・環境工学群	建築法規	2	川端 洋介	公務員として建築行政業務経験が24年と長く、制度の変遷等について多くを知る。とりわけ、H10年(民間開放他)とH18年(肺がん事件)の改正事務、及び県被告の行政訴訟2件に係る訴訟事務について、県の主担当を務めた経験を生かし講義を行っている。
36	建築・都市・環境工学群	交通計画	2	森田 哲夫	道路、鉄道、新交通システム等に関する実務経験を活かし、現実の問題に即した交通計画手法を解説している。
37	建築・都市・環境工学群	構造物設計論	2	岡野 素之	教員は建設会社の設計部出身で設計上ならびに施工上考慮すべき要点について講義している。
38	建築・都市・環境工学群	鋼構造学	2	宮川 睦巳	橋梁会社での実務経験を生かし、鋼構を通じて工学と社会インフラとのつながりを説明している。
39	建築・都市・環境工学群	測量実習Ⅱ	2	角田 健治 宮川 睦巳	両名とも設計業務の経験があり、線形計算など実務を踏まえた指導をしている。"
40	建築・都市・環境工学群	地域・都市計画	2	森田 哲夫	土地利用計画、住宅地・商業地計画等の実務経験を活かし、地域・都市計画手法を解説している。
41	建築・都市・環境工学群	土木構造力学Ⅱ	2	宮川 睦巳	橋梁会社での実務経験を生かし、鋼構を題材として力学の重要性と現実の設計に必要な基礎知識を説明している。
建築・都市・環境工学群 集計			78		
1	情報・生命工学群	バイオ技術英語	2	①本間 知夫 ②中山 明 ③本多 一郎 ④林 秀謙 ⑤山下 聡 ⑥杉山 立志	①～⑤国立研究機関での経験を活かして講義を実施する。⑥民間企業での商品開発等の経験を活かして講義を実施する。
2	情報・生命工学群	バイオ統計	2	大藤 道衛	製薬企業での研究開発業務、バイオ企業での技術コンサルタントの経験を活かし、分子医科学における統計解析方法、ゲノム解析や細菌叢解析など具体的な実験データを用いた統計解析方法、統計データを発表するためのプレゼンテーション手法など生命科学研究に必要な統計の基本についての講義を実施する。
3	情報・生命工学群	機器分析	2	門屋 利彦	医薬品の研究開発経験を活かし、食品や医薬分野での基礎研究や開発、製造や品質管理において実施される質量分析、分光分析、分離分析、免疫化学的分析、生物学的分析などで用いられる機器分析の原理とデータ解析法について例を挙げて講義を行う。
4	情報・生命工学群	情報・生命基礎実習	2	①本多 一郎 ②松本 浩樹 ③荒井 武彦 ④首藤 文洋 ⑤本間 知夫 ⑥尾形 智夫 ⑦山下 聡 ⑧林 秀謙 ⑨星 淡子 ⑩中山 明	本実習は、情報・生命工学分野における研究や生産、品質管理などで使用される基本的な操作、原理、実験結果の解析方法等を学習することを目的とする実践的科目である。実施される各実験では担当する各教員の実務経験を活かして指導している。① 国立研究機関（農水省関係）での農園芸学に従事した経験を活かし顕微鏡を用いた植物の観察実習を実施する。② 信号処理回路およびプログラムを含むシステム開発した経験を活かし、信号処理の基礎実習を実施する。③ 実務でのプログラミング経験を活かし、信号処理の基礎実習を実施する。④ 融合学問領域の研究者としての活動経験や臨床獣医としての経験を活かし、生理学実験を実施する。⑤ 国立研究機関（農水省関係）での研究経験を活かし、分析機器を用いた定量操作について実習を実施する。⑥ 企業における研究その他の実務経験を活かし、実験や研究における留意点や結果のまとめ方などについて教授する。⑦ 民間企業、国立研究機関での経験を活かし、分析機器の基本操作とその利用についての実習を担当する。⑧ 研究機関における微生物分野の研究経験を活かし、顕微鏡を用いた微生物の観察実習を実施する。⑨ 民間企業、国立研究機関での経験を活かし、化学実験の基本操作とその重要性および注意点について教授する。⑩ 県立および国立の研究機関での植物、農園芸関係の実務経験を活かし、顕微鏡を用いた植物の観察実習を実施する。
5	情報・生命工学群	食品栄養化学	2	杉山 立志	食品会社における研究開発等の経験を活かし、加工工程における成分変化や、賞味期限の設定方法について講義する。
6	情報・生命工学群	生物工学実験Ⅱ	4	①林 秀謙 ②本間 知夫 ③山下 聡 ④杉山 立志	本授業は食品科学、食品衛生学、生物学、微生物学、生化学に関する実験において必要とされる各種操作や分析手段、そして実験結果の解析方法等を、各種実験を通じて習得させることを目的とする実践的科目である。実施される各実験は担当する各教員の実務経験を活かしている。①研究機関における微生物分野の技術開発経験を活かし、微生物の単離、分離、同定、生理生化学的性質の解析などの指導をしている。②国立研究機関（農水省作物関係）での技術開発経験を活かし、植物の機能性分子の分離・定量や機能性測定などの生物学実験を実施する。③民間企業、国立研究機関での経験を活かし、食品や天然物中に含まれる物質の精製、含有量や活性の定量的計測、機器分析による計測などの基礎的実験を実施する。④民間企業での経験を活かし、食品や天然物中に含まれる物質の量の計測、機能性評価などの実験を実施する。
7	情報・生命工学群	生物工学実験Ⅲ	4	①本多 一郎 ②中山 明	本授業は有機化学、天然物化学的な物質取扱い、機器分析法、植物を使ったバイオアッセイ法、実験データの解析法を経験することを目的とした実践的科目である。学生自身は実験を通して、その技術を会得するとともに、その理論的背景を学ぶ。指導教員は、①研究機関等における有機合成、天然物有機化学、機器分析と実験データ解析の実務経験が豊富であり、これらの経験を実験の内容、指導に活かしている。②研究機関における植物（バイオアッセイを含む）の技術開発経験を実験の内容や指導に活かしている。

「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表					
8	情報・生命工学群	生物工学実験Ⅳ	4	①本岡 知夫 ②林 秀謙 ③山下 聡 ④杉山 立志	本授業は食品科学、食品衛生学、食品分析、微生物利用について、これまでの実験で学んだ基本的な操作・技術を活かして実際の食品材料等を利用した実験を行うこと、また食品工場見学を通じて実際の現場でどのような取り組みが行われているかを学ぶことを目的とする実践的科目である。実施される各実験は担当する各教員の实務経験を活かしている。①研究機関におけるチャをはじめとする農業・食品関係の技術開発経験と知識を活かし、身近にある飲料等を実験材料として食品成分の機能性（抗酸化性）や含有量（総ポリフェノール含有量）を調べる実験、実際の食品製造の現場における衛生的取組みについて解説している。②研究機関における微生物分野の技術開発および品質管理の経験を活かし、微生物が生産する抗生物質の性質、麹菌が生産するアミラーゼの機能解析などを実施し、微生物利用の重要性を指導している。③民間企業、国立研究機関での経験を活かして、研究開発や製造の現場で欠かせない分離分析や定量分析の基礎を身につけることを目的として、食品成分のHPLC分析法などを指導している。④民間企業での経験を活かして、身近にある飲料等を実験材料として食品成分の機能性（抗酸化性）や含有量（総ポリフェノール含有量）を調べる実験、実際の食品製造の現場における衛生的取組みについて解説している。
9	情報・生命工学群	生理学実習	3	首藤 文洋	獣医師資格保持者であり人体解剖の知見・要点をモデル動物の解剖に適宜反映している。
10	情報・生命工学群	微生物利用学	2	林 秀謙	研究機関における微生物分野の技術開発経験を活かし、微生物利用学、応用微生物学に関する基礎的な授業を実施している。微生物の品質管理、分譲業務より得られた微生物菌株の重要性についても講義を行っている。
11	情報・生命工学群	プログラミング言語・演習	4	三河 賢治 浜元 信州	実務でのプログラミング経験を基に、プログラミング言語の演習を行う。
12	情報・生命工学群	機能性食品学	2	杉山 立志	食品会社における機能性食品事業の経験を活かして、機能性食品の開発・販売実務に必要な内容について講義を行う。
13	情報・生命工学群	公衆衛生学・関係法規	2	船田 一夫	県職員として公衆衛生、食品衛生監視員、麻薬取締員などの現場での職務経験・知識を活かして、食品衛生関係に必要な公衆衛生及び関連する法律についての講義を実施している。
14	情報・生命工学群	電気・電子回路実習	3	小堀 康功	回路開発の実務経験を活かし、電気回路と電子回路の組み立て、オシロスコープ等の電子機器の取り扱いおよびそれらの機器を用いて回路の特性を計測する演習を行っている。
15	情報・生命工学群	免疫学	2	門屋 利彦	製薬企業における医薬品の研究開発経験を活かし、免疫と疾患との関連、抗体作製方法、抗体やサイトカイン、増殖因子の研究材料や医薬品としての利用や細胞医療などについて例を挙げて授業を実施する。
16	情報・生命工学群	コンピュータグラフィクス	2	優 乙石	分子シミュレーションデータの並列解析プログラム開発に従事していた経験を活かし、生体分子構造のCGや表現方法を題材に、その他の生命系科目にも生かせる内容にしている。
17	情報・生命工学群	データベース	2	蒔田 由布子	理化学研究所においてのデータベース開発および運用経験を基に、データベースの授業を行なっている。
18	情報・生命工学群	データマイニング	2	蒔田 由布子	理化学研究所にて、公共データをマイニングし遺伝子機能を推論していた経験を生かし、データマイニングの授業を行なっている
19	情報・生命工学群	プログラミング言語・演習Ⅱ	4	関口 達也	実務でのプログラミング経験をともに、有用なプログラムを読んで咀嚼することの大切さを知ることや文法知識が実際の課題にどのように役に立つのかを知ること意識させた授業を行っている。
20	情報・生命工学群	プログラミング言語・演習Ⅲ	4	優 乙石	実務経験として、大規模生体分子シミュレーションのプロジェクトに従事。分子構造のデータ解析で培ったプログラミング技法（データ構造や並列化・高速化）を応用する。
21	情報・生命工学群	プログラミング言語・演習Ⅳ	4	野野 敬	企業でのプログラミング経験をともに、データ形式の共有、プログラムの高速化を意識したコーディングスキルの体得を図っている。
22	情報・生命工学群	遺伝情報学	2	福地 佐志志	創薬の研究、公共遺伝子データベース運営の経験にもとづき、配列解析の基礎となる遺伝学の授業を行っている。
23	情報・生命工学群	医学概論	2	首藤 文洋	医師養成課程教員の経験と獣医師としての臨床診療の実務経験を反映。
24	情報・生命工学群	医用機器工学	2	首藤 文洋	医師養成課程教員の経験と獣医臨床経験を反映。
25	情報・生命工学群	情報・通信論	2	松本 浩樹	実際の情報通信機器を開発した経験を活かし、情報通信理論の実システムへの適用方法の教育を行っている。
26	情報・生命工学群	食品製造学	2	本岡 知夫	研究機関におけるチャをはじめとする農業・食品関係の技術開発経験と知識を活かし、チャなど各食品の製造加工に関して、各製造工程で実施される技術や原料の変化等を解説する授業を実施している。
27	情報・生命工学群	信号処理	2	松本 浩樹	音声・通信の信号処理回路およびプログラムを含むシステムの技術開発経験を活かし、信号処理理論の具体的なアルゴリズムへの展開と、アルゴリズムのDSPへのコーディング手法の教育を行っている。
28	情報・生命工学群	生物物理の基礎	2	優 乙石	大規模生体分子シミュレーションのプロジェクトでの生体分子構造のCGや表現方法などの経験を活かし、講義を行っている。
29	情報・生命工学群	並列分散処理	2	優 乙石	分子シミュレーションデータの並列解析プログラム開発に従事していた経験を活かし、MPIやOpenMPを用いたハイブリッド並列やGPUを用いた高速化など汎用的な技術を中心に指導する。
30	情報・生命工学群	生物応用工学概論	2	①本岡 知夫 ②中山 明 ③本多一郎 ④林 秀謙 ⑤山下 聡 ⑥杉山 立志	①～⑤国立研究機関での経験を活かして講義を実施する。⑥民間企業での商品開発等の経験を活かして講義を実施する。
情報・生命工学群 集計			76		
1	社会環境工学科	色彩工学	2	小池 広明	実務経験を通じた話題（事例紹介、資格、技術者としての取組姿勢等）を提供する。
社会環境工学科 集計			2		
1	建築学科	鉄筋コンクリート構造設計	2	金井 喜一	構造設計の実務経験を活かし、構造設計方法について、応力解析及び断面算定等の構造計算の流れを講義し、これらの理解のもとで構造図面の作成概要を説明する。
2	建築学科	建築設計Ⅳ	2	①石川 恒夫 ②石黒 由紀	①②実際の建物を設計する過程で、実務を通じて得られた経験と知識に基づき、課題設定と技術指導に活かしている。
3	建築学科	鋼構造設計	2	荒井 豊人	構造設計の実務経験を活かし、構造図作成と応力解析及び構造設計を通じて、構造設計方法の講義と課題演習を行っている。
4	建築学科	都市環境計画Ⅱ	2	辛 島 一樹	設計実務の経験を活かし、建築が都市に与える影響を含め、都市計画の法制度の内容、重要性を指導している。
5	建築学科	建築計画Ⅲ	2	馬場 弘一郎	ゼネコン設計部での幅広い分野・用途での経験、海外での設計経験（海外登録建築家資格保有）、建築士会、BELCA（ロングライフビル推進協会）、JFMA（日本ファシリティマネジメント協会）、マンション学会他での委員、役員経験、および賃貸集合住宅の管理経験から、総合的でグローバルな建築計画論を語る。
建築学科 集計			10		
1	総合デザイン工学科	デザイン演習Ⅲ	2	①江本関夫 ②杉浦 榮	①②実務経験を活かし、実際の地域や敷地（前橋まちなかエリア等）を対象とし、包括的な調査・分析から、現実的な課題を解消し、地域の潜在資源を活かすような空間・プロダクト・情報デザイン提案への技術指導を行っている。

「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表					
2	総合デザイン工学科	材料工学	2	山中 憲行	労働安全の技能講習・特別教育、研究開発の実務の経験を活かし、構造物全般に関わる力学を指導している。
3	総合デザイン工学科	材料実験	2	山中 憲行	労働安全の技能講習・特別教育、研究開発の実務の経験を活かし、構造物全般に関わる力学を指導している。
4	総合デザイン工学科	プロダクトデザインⅡ	2	江本 関夫	実際の製品デザイン実務から得た経験と知識に基づき、課題を設定し、提案の構築とその表現方法を指導している。
5	総合デザイン工学科	デザイン基礎演習Ⅱ	2	江本 関夫	設計・デザイン実務の経験を活かし、基本要素の組合せから生まれる多様な空間性のスタディを行う課題設定と、製図や模型を伴うプレゼンテーション表現の技術指導を行っている。各回の講義の内容は、課題に対して各教員が実務で培ってきた知見と実践が活用されている。
6	総合デザイン工学科	建築マネジメント	2	小川 貴之	建築設計・監理を含む建築マネジメント全体を通して、建築における生産性、維持管理の効率性、建築関係法等について、実務者（一級建築士）として実務に携わった経験を活かしている。
7	総合デザイン工学科	デジタル造形基礎	2	江本 関夫	実際の製品デザイン実務から得た経験と知識に基づき、課題を設定し、提案の構築とその表現方法を指導している。
8	総合デザイン工学科	デザイン演習ⅣB	2	江本 関夫	実際の製品デザイン実務から得た経験と知識に基づき、課題を設定し、提案の構築とその表現方法を指導している。
9	総合デザイン工学科	コミュニティデザイン	2	杉浦 榮	実務経験を活かし、環境と都市の関係性からみた現代的な課題等について、近代以降の理論を踏まえた講義や指導を行っている。
10	総合デザイン工学科	コンテクスチュアルデザイン	2	杉浦 榮	実務経験を活かし、多様な用途に応じた空間をデザインする課題設定や講評や指導を行っている。
総合デザイン工学科 集計			20		
総計			196		